

副専攻名 理論経済

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

経済理論及び統計学的・数量分析の習得に資する専門科目群を幅広く配置する。この中から学生は、各自の興味に応じて自主的に履修計画を作成することが出来る。

副専攻の学習成果

- 幅広い教養を身につけ、複眼的に現代社会を見る目を養う。
- 経済学・経営学を学ぶに必要な基礎的な考え方や分析手法を修得する。
- 市場経済のしくみと政府の役割を理解する。
- 現代経済社会が形成されるに至った過程及び背景を理解する。
- さまざまな経済学説や理論を修得する。
- 国際社会、日本社会、地域社会が抱える諸問題を理解し、解決の為の政策立案能力を養う。
- 課題を発見し、自ら調べ、解決策を導き出す能力を培う。
- さまざまな情報源(日本語以外で発信されているものも含む)から適切な情報を取捨選択し、有益に活用する能力を養う。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
13001	理論経済学ⅠA	ミクロ経済学を学習する上で必要となる諸概念を理解することができるようになる。 1. 需要曲線の概念を理解することができるようになる。 2. 供給曲線の概念を理解することができるようになる。	2～4	2	
13003	理論経済学ⅡA	1. 市場経済の機能と基礎的なマクロ経済理論を体系的に身につけることができる。 2. マクロ経済に関する諸概念を理解し、自分の力でそれらを現実経済に適用できる。	2～4	2	
33101	政治経済学A	1. 基礎概念を歴史認識に基づいて理解できるようになる。 2. 上記諸概念を使って現代資本主義の諸問題にアプローチすることができるようになる。	2～4	2	
33103	政治経済学B	現代資本主義に到る構造変化のプロセスを説明できるようになる。	2～4		2
13019	現代経済理論A	諸政策の背景にある経済理論について考えることができる。	2～4	2	
33107	現代経済理論B	時間軸・空間軸などに沿って多角的な理論的考察ができる。	2～4		2
33109	理論経済学IB	1. 市場における企業行動の特徴と問題点を理解することができるようになる。 2. 経済政策の考え方を理解することができるようになる。 3. 様々な経済問題を経済学の観点から理解することができるようになる。	2～4		2
33111	理論経済学ⅡB	1. 標準的なマクロ経済理論を体系的に身につけることができる。 2. マクロ経済に関する諸概念を理解し、自分の力でそれらを現実経済に適用できる。	2～4		2
33113	計量経済学A	横断面データを用いた回帰分析手法が理解できるようになる。	2～4	2	
33115	計量経済学B	横断面データ以外のデータを用いた回帰分析手法が理解できるようになる。	2～4		2
33117	応用計量経済学A	計量経済モデルを作成し、横断面データによる回帰分析をソフトウェアを用いて行い、その結果の解釈ができるようになる。	2～4	2	
33119	応用計量経済学B	計量経済モデルを作成し、横断面データ以外のデータによる回帰分析を行うことができるようになる。	2～4		2
13007	統計学A	統計的推定・検定を適切に実行出来るようになる。	2～4		2
33121	統計学B	統計的推定・検定の詳細を理解する。	2～4	2	
33123	経済統計学A	記述統計の考え方を理解する。	2～4		2

副専攻名 理論経済**副専攻のCP(カリキュラム編成方針)**

経済理論及び統計学的・数量分析の習得に資する専門科目群を幅広く配置する。この中から学生は、各自の興味に応じて自主的に履修計画を作成することが出来る。

副専攻の学習成果

1. 幅広い教養を身につけ、複眼的に現代社会を見る目を養う。
2. 経済学・経営学を学ぶに必要な基礎的な考え方や分析手法を修得する。
3. 市場経済のしくみと政府の役割を理解する。
4. 現代経済社会が形成されるに至った過程及び背景を理解する。
5. さまざまな経済学説や理論を修得する。
6. 国際社会、日本社会、地域社会が抱える諸問題を理解し、解決の為の政策立案能力を養う。
7. 課題を発見し、自ら調べ、解決策を導き出す能力を培う。
8. さまざまな情報源(日本語以外で発信されているものも含む)から適切な情報を取捨選択し、有益に活用する能力を養う。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
33125	経済統計学B	経済データならではの記述統計手法を理解する。	2～4		2
13005	経済変動論A	資本主義経済の本質理解が可能になる。	2～4	2	
33127	経済変動論B	資本主義経済の歴史認識が可能になる。	2～4		2
13017	経済数学 I	1. 微分法の考え方を正確に理解し、実際に様々な関数を微分できる。 2. 微分法を中心として数学的手法がどのように経済学に適用されるのかを理解できる。	2～4	2	
33131	経済数学 II	1. 行列を用いて連立1次方程式を表現し、解けるようになる。 2. 経済学や経営学に関する問題が数式で表現できるようになる。	2～4		2
33133	経済学史A	経済学の理論がいかに形成されてきたかが理解できるようになる。	2～4	2	
33135	経済学史B	経済学の理論がいかに形成されてきたかが理解できるようになる。	2～4		2